

KAWASAKI 2025

ミュージザ川崎シンフォニーホール

サマーナイト・ジャズ

Summer Night Jazz

トップジャズプレイヤーとゲストシンガーによるジャズ&ポップス 夢の一夜

8/10日

【プレコンサート】

17:20~17:40

※本公演と同じお席でお楽しみください。
※プレコンサート中の客席への入退場は自由です。

〈出演〉

ピアノ:小川紅葉

ピアノ:金田龍二

ピアノ:瀬戸萌歌

【開演】18:00

【終演予定】20:00

ご来場“サマー”限定イベント
「お楽しみ抽選会」
を開催!

出演者サイン入りの景品をご用意しています。

休憩・終演時にホール1階「主催者受付」にて当選番号を掲示します。

ぜひご確認ください♪

出演

ピアノ&音楽監督:宮本貴奈

Takana Miyamoto, Piano & Music Director

ゲスト・ヴォーカル:クリス・ハート

Chris Hart, Guest Vocal

ゲスト・ヴォーカル:福原みほ

Miho Fukuhara, Guest Vocal

サクソフォーン:馬場智章

Tomoaki Baba, Saxophone

ベース:小川晋平

Shimpei Ogawa, Bass

ドラムス:川口千里

Senri Kawaguchi, Drums

曲目

第1部

Rainbow

Summertime

So Nice (Summer Samba) ~ Wave

馬場智章 Sax feature

Just The Two Of Us

— 休憩(20分) —

第2部

It Don't Mean a Thing (If It Ain't Got That Swing)

(スイングしなけりゃ意味ないね)

優しい赤

Killing Me Softly With His Song

(優しく歌って) *ロバータ・フラック追悼

Rock With You

I LOVE YOU

You've Got A Friend

※出演者・公演内容につきましては変更が生じる場合がございます。

皆様にコンサートをお楽しみいただくために、
ご協力をお願いいたします。

開演中は、携帯電話・スマートフォン・タブレット端末など音や光を発する電子機器の電源をお切りください。光を強く反射する物は鞆におしまってください。



時計のアラーム・時報などは設定の解除をお願いいたします。



ハウリングの発生を防ぐために、補聴器などが正しく装着されていることをご確認ください。



演奏中の入退場はご遠慮ください。全席指定の公演です。ご自分の席でお聴きください。



許可のない写真撮影・録音・録画は固くお断りいたします(カーテンコール時を除く)。



演奏中に音が出ないように十分ご注意ください(鈴のついたお手荷物・鉛の包みを開ける際の音・プログラムをめくる音など)。



演奏中の会話はお控えください。



演奏が終わったとき、音が消えゆく余韻を十分に味わってから拍手・ブラボーなどの声援をお送りください。



客席内での飲食はご遠慮ください。



館内では咳エチケット・適切な手指消毒を推奨しております。

終演後のカーテンコールの撮影が可能です。

撮影は自席にご着席のまま、周りのお客様へご配慮いただきますようお願いいたします。

※前半終了時、アンコール演奏中は撮影いただけません。 ※撮影前にフラッシュ設定が「オフ」になっているかご確認ください。 ※目線より高い位置での撮影や、スマートフォン・携帯電話以外のカメラでの撮影、自撮り棒の使用はご遠慮ください。 ※SNSなどに投稿する際は、ほかのお客様の映り込みにご注意ください。

主催:川崎市、ミュージザ川崎シンフォニーホール(川崎市文化財団グループ)

後援:川崎市教育委員会、公益社団法人 日本オーケストラ連盟、J-WAVE 81.3FM、TBSラジオ

助成:文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業)

独立行政法人日本芸術文化振興会

Colors, Future!
いろいろって、未来。

音楽のまちかわさき



文化庁

川崎市

宮本貴奈インタビュー 超実力派のミュージシャンとソウルフルなシンガーが織りあげる サプライズ満載のステージ

談||宮本貴奈(ピアノ&音楽監督) 取材文||早田和音

本日は「フェスタサマーミュージック KAWASAKI 2025 サマーナイト・ジャズ」にお越しいただきありがとうございます。今年のプログラムは、私、宮本貴奈がピアノ&音楽監督を担当。皆さまに、真夏の夜を楽しみながら過ごしていただけるよう、超実力派のミュージシャンとシンガーたちを迎え、オリジナル曲やジャズ、ポップス、ソウルミュージックなど、2部構成による盛りだくさんのメニューをお届けいたします。



©Toshiya Suzuki

初共演のトリオ&カルテットによるジャズ

第1部は、この日のために編成したスペシャル・トリオからスタートします。ドラムの川口千里さんは、リー・リトナーやブーティ・コリンズとも共演するなど、フュージョン・シーンでの世界的な活躍でご存知の方も多いと思いますが、私は、世界的トランペッターのエリック・ミヤシロさんが率いるブルーノート東京オールスター・ジャズ・オーケストラでよく彼女と一緒させていただいています。このオーケストラは、スウィングあり、ラテンあり、ファンクありのものすごく多彩なレパートリーを持つビッグバンドで、音楽のふり幅が大きいうえにアレンジもとても複雑なのですが、千里さんはそれらをオールマイティに演奏。どんなタイプの曲でもしっかりグルーブさせる心強いドラマーです。

小川晋平さんは、昨年のサマーナイト・ジャズに出演した小曾根真さんのトリオ TRiNFiNiTYやビッグバンドのNO NAME HORSESでもレギュラーを務める、ジャズ界で大注目の若きベーシスト。小曾根さんが書きあげる難易度の高い音楽をがっしり支える凄腕の持ち主です。私はこれまでに千里さん、小川さんのどちらとも共演していますが、このふたりを一緒にお迎えするのは今回が初めて。本邦初公開のレアなトリオ演奏を最初にお届けします。

私が皆さんにぜひ聴いていただきたいと思っているのが、2013年にギタリストの小沼ようすけさんとのデュオ・ユニット“Double Rainbow”で発表したアルバム『Voyage』に収録した私のオリジナル曲「Rainbow」のトリオ・ヴァージョン。琴の音階を取り入れた仄かな和テイストのメロディと華やかなブラジリアン・リズム、繊細なジャズ・ハーモニーをフュージョンさせて作りあげたクロス・ジャンルな曲を千里さんフィーチャーの煌びやかなアレンジでお届けします。彼女のパワフルなドラムに驚いていただくのがものすごく楽しみです。そしてジョージ・ガーシュウインの名曲「Summertime」をタンゴ・アレンジによるちょっとクラシカルな雰囲気でお届けしようと思っています。

さらに第1部後半は、黒田卓也さん、大林武司さんたちと2016年に結成したJ-Squadでの活動や、2023年のアニメーション映画『BLUE GIANT』で主人公“宮本大”のサクソ演奏を担当したことで知られるサクソ奏者の馬場智章さんを加えてのカルテット演奏。馬場さんは、コンテンポラリー・テイストのアルバム『ELECTRIC RIDER』を発表したり、海外ミュージシャンも参加する“BaBaBar”というセッション・プロジェクトを展開したり、幅広く活躍していますが、その彼の多彩な活動を支えるのはたくて艶やかな音色のサクソ。その魅力を味わうことのできるゴリゴリのジャズ・スタンダードもご用意しました。これぞジャズ・サクソという演奏をお楽しみください。

ソウルテイスト溢れる ヴォーカル・ステージ

そして第2部は、私の大好きなシンガーおふたりをお招きして華やかなステージをお届けします。

最初に登場する福原みほさんは2008年にメジャーデビュー。アメリカやシンガポールなど国際的な活動を展開させる超実力派のシンガー&ソングライターです。以前にストリングス・オーケストラと一緒に共演したことがあるのですが、その時に、「この人めっちゃめっちゃ歌上手い!」と大感動して、今回は、私が是非にとリクエストしての出演。彼女の最大のヒット曲「優しい赤」をアコースティックなジャズ編成用の新アレンジで歌っていただくほか、彼女のソウルフルな魅力を楽しんでいただくための曲もチョイスしてあって、そこで私もコーラスを歌おうと考えています。

続く第2部後半はクリス・ハートさんの登場。2010年代初頭にデビューして、2013年~14年に2年連続の紅白歌合戦出場。2024年からは“Starlite Club”という新プロジェクトを展開している素晴らしいシンガー&ソングライターです。初めて彼の歌声を聴いた時か

ら、「いつかステージで一緒にいたい」と思い続けていた方で、今回は念願叶っての初共演。彼の人気オリジナル曲「I LOVE YOU」は絶対に皆さんに生で聴いていただきたい曲。その他にも、“奇跡の歌声”、“天才ソウルシンガー”と讃えられる彼の魅力を伝えるソウル・スタンダード曲を歌っていただきますし、もちろん福原みほさんとのスペシャル・デュエットもお届けします。

サプライズが広がってくれる 音楽の楽しみ

今年のサマーナイト・ジャズは初共演や新たな試みが満載。そこには、純粋に私がいま最も一緒にやってみたいミュージシャンをお呼びして、自分が楽しいと思える音楽をお届けしたいという一面もありますが、それ以上に強く思っているのが、お越しいただいた皆さんに今日の出演メンバーの新たな魅力に触れて、音楽の楽しみをさらに広げていただきたいという願い。実は、このプログラムに書いていないサプライズも用意してあります。最後まで楽しくお過ごしください。

コンサートのご案内

かわさきジャズ

2025

チケット
好評
発売中!

10月29日(水) 19:00開演

出演 スティーヴ・ガッド BHGプロジェクト

チケット 全席指定 4,000円[友の会: 3,600円]
U25(小学生~25歳) 1,500円

[主催・会場・お問合せ]ミュージック川崎シンフォニーホール
044-520-0200(10:00~18:00)



ミカエル・ブリチャー (サクソフォン)、ダン・ヘマー (ハモンドオルガン)、スティーヴ・ガッド (ドラムス)

「かわさきジャズ」は川崎市全域で、
9月15日(月・祝)~11月23日(日・祝)に多彩なイベントを開催!
詳細は「かわさきジャズ」ウェブサイト(<https://www.kawasakijazz.jp/>)よりご覧ください。

■出演者プロフィール



ピアノ&音楽監督：宮本貴奈

Takana Miyamoto, Piano & Music Director

ピアニスト・作編曲家。物語が見えてくるような音づくりと多彩なピアノスタイルで、ジャズ、ポップス、クラシック、弾き語りまで幅広く活動。米国ボストン、ニューヨーク、アトランタ、英国ロンドンを拠点に約20年にわたり活動し、30カ国以上で演奏。1998年エドマン・ジャズピアノ大会全米優勝、参加アルバムが米グラミー賞2部門ノミネート。アトランタ・ベストジャズ2年連続受賞、「ジョージア州で最も影響力のある女性」にも選出。パークリー音楽大学で映画音楽・ジャズ作曲を学び、ジョージア州立大学大学院ジャズ教育学修士号取得、同大学講師も務めた。2013年に帰国、『On My Way』で日本デビュー。以降、アレンジ・プロデュース、音楽監督、オーケストラ編曲、映画・TVの音楽なども幅広く手がけ、八神純子、佐藤正幸、May J.、小野リサ、絢香、タケカワユキヒデ、中西圭三、尾崎裕哉ほか多彩な共演やコラボを展開。2020年『Wonderful World』でミュージック・ペンクラブ音楽賞「最優秀作品賞」受賞。2023年ミュゼ川崎シンフォニーホール ホールアドバイザーに就任。 <https://www.takana.net>

©Toshiya Suzuki



サクソフォーン：馬場智章

Tomoaki Baba, Saxophone

©Kei Sakakura

1992年、北海道札幌市生まれ。パークリー音楽院卒業後、ニューヨークを拠点に本格的な演奏活動を展開。テレビ朝日系「報道ステーション」テーマ曲を手がけた「J-Squad」に参加し注目を集める。2020年の帰国後は、リーダー作『Storyteller』(2020)、『Gathering』(2022)を発表。2023年公開のアニメーション映画『BLUE GIANT』では、主人公・宮本大のサクソフ演奏を担当した。2024年には『ELECTRIC RIDER』でユニバーサルミュージックよりメジャーデビュー。2025年、International Jazz Day Global Concert in Abu DhabiでHerbie Hancockらと共演。自身のバンド“ELECTRIC RIDERS”として Seoul Jazz Festivalにも出演。世界各国のミュージシャンとのコラボイベント“BaBaBar”を主宰。



ゲスト・ヴォーカル：クリス・ハート

Chris Hart, Guest Vocal

米サンフランシスコ出身。2012年、TV番組「のどじゃんざ!ワールド」に出演し優勝。2013年、ユニバーサルミュージックより「home」でデビュー。2013、2014年と2年連続で「NHK紅白歌合戦」へ出場。2016年には初の日本武道館単独公演を開催し、2017年に日本国籍を取得した。オリジナル楽曲「I LOVE YOU」はYouTubeの総再生回数4900万回以上を記録。2023年、メジャーデビュー10周年を迎え、2月23日に公開された映画『湯道』にて俳優として初の映画デビューを果たした。2024年から新プロジェクト“Starlite Club”としての活動を開始。



ベース：小川晋平

Shimpei Ogawa, Bass

©Leslie kee

13歳でエレクトリックベースを始め、ジャズの魅力に惹かれ16歳でアコースティックベースを始める。2016年に渡米し、California Jazz Conservatoryに入学。Jeff Densonを始め、様々なミュージシャンに師事する傍ら、サンフランシスコ周辺のライブハウスやスタジオを中心に演奏活動をする。2019年ニューヨークへ移り、2021年に帰国。東京に拠点を移し、日野皓正、小曽根真、Gene Jackson、黒田卓也、大林武司の各氏らと共演を重ねる。2023年、大植英次指揮、新日本フィルハーモニー交響楽団による小曽根真作曲：ピアノ協奏曲『SUMIDA』(同団50周年委嘱作品)世界初演奏会に出演。小曽根真の新トリオTRiNFiNiTYのメンバー。



ゲスト・ヴォーカル：福原みほ

Miho Fukuhara, Guest Vocal

2008年にSony Music Records, gr8! recordsより「CHANGE」でメジャーデビューを果たす。ロサンゼルスSecond AME Churchでアジア人では初のゴスペルソロを務める。黒人教会220年の歴史を変えた奇跡の声との高評価を得る。1stアルバム『RAINBOW』は15万枚の大ヒット、オリコン初登場2位をマーク。翌年の2ndアルバム『Music is My Life』も2作連続オリコンベスト5を記録。2023年にデビュー15周年を迎え、各地でのアニメーションライブがソールド・アウトとなる。プライベートでは一児の母。 <https://www.fukuharamiho.com/>



ドラムス：川口千里

Senri Kawaguchi, Drums

©Yamaha

1997年、愛知県生まれのドラマー。5歳でドラムを始め、8歳から菅沼孝三氏に師事。YouTubeでのドラム演奏動画は世界中から注目され、総再生回数は現在およそ4000万回。これまで4枚のオリジナルアルバムと2枚のライブDVDをリリース。最新アルバム『Dynamogenic』は第27回日本プロ音楽録音賞ベストパフォーマンス賞を受賞し、海外のドラム専門誌「DRUMHEAD MAGAZINE」の表紙を飾るなど、海外からの注目も高い。ブルーノート東京オールスター・ジャズ・オーケストラなどでも活躍すると同時に、国内外のセッションやレコーディング、ドラムセミナー、海外アーティストのサポートに加え、吹奏楽やオーケストラからのオファーも絶えない。

プレコンサート



ピアノ：小川紅葉
Momiji Ogawa, Piano



ピアノ：金田龍二
Ryuji Kaneda, Piano



ピアノ：瀬戸萌歌
Moeka Seto, Piano

サマーミュージック特設サイト

●アンコール曲 ●ほぼ日刊サマーミュージック

●パートナーショップ特典

こちらからご覧ください。

<https://www.kawasaki-sym-hall.jp/festa/> →



アンケート ご協力をお願いします。

ほぼ日刊サマーミュージックに感想が載るかも?!

<https://gws-net.com/summermuza2025/> →



浴衣 de SUMMER MUZA!

浴衣でご来場の方へ特製ステッカーを差し上げます。

開場・休憩・終演時に、ホール1階「主催者受付」へお立ち寄りください。

ミュージック川崎シンフォニーホール スポンサー

法人

【特別賛助会員】

川崎幸病院
川崎信用金庫
キヤノン株式会社
サントリーホールディングス株式会社
ジェフト株式会社
三井不動産グループ

【賛助会員】

税理士法人あおぞら会計
株式会社イープラス
ENEOS株式会社
有限会社エムシーエス・デザインズ
神奈川臨海鉄道株式会社
川崎アゼリア株式会社
公益社団法人川崎市医師会
川崎市信用保証協会

公益社団法人川崎市病院協会
一般社団法人川崎市薬剤師会
川崎鶴見臨港バス株式会社
川崎日航ホテル
かわさきファーズ株式会社
川崎臨港倉庫埠頭株式会社
ケイジー株式会社
公益財団法人JFE21世紀財団
株式会社シグマコミュニケーションズ

セレス川崎農業協同組合
大本山川崎大師平間寺
高橋也也税理士・FP事務所
株式会社ディ・シー
東亜石油株式会社
株式会社東芝
日本冶金工業株式会社 川崎製造所
ぴあ株式会社
ホテルメトロポリタン 川崎

ヤマハサウンドシステム株式会社
株式会社ワイヤーソリューションズ
*
大宮町内会
他3法人

【わくわくミュージック法人サポーター】
稲毛神社
おつけもの慶

個人

阿部孝夫
新井智彦
市橋信一郎
井上敏昭
宇佐美清一

遠藤智和
大越麻美子
大須賀徳也
大塚具幸
岡垣克則

小笠原 将
岡田 元
岡野 功
小倉ヒロ・ミハエル
小野洋彰

金山直樹
喜多純一
木伏源太
久住映子
小菅みつほ

国府保周
後藤 実
小林知子
佐伯 昇
佐藤晴茂

佐藤義寛
新保和浩
杉山弘子
鈴木甚郎
鈴木 徹

高井延幸
高橋美子
竹内啓介
都築 豊
中村紀美子

西 洋子
西山英昭
長谷川喜代江
林 直人
廣瀬治昇

藤嶋とみ子
堀江智巳
前田 泉
松嶋邦生
山内利夫

山下啓史
山田昌克
D.Y
K.O
M.C

N.A
T.Y
他匿名16名
敬称略五十音順

ミュージック川崎シンフォニーホールの公演事業は、ホールスポンサーの皆様によって支えられています。